

平成 25 年度

年報

山口県文書館

目次

I 概要		8 刊行物	15
		25年度の刊行物	15
1 沿革	2	9 地方調査員	15
(1) 設立	2	(1) 地方調査員会議	15
(2) 年表	2	(2) 地方調査員による文書調査報告実績	15
2 組織	9	(3) 地方調査員名簿	15
3 決算	9	10 広報・普及	16
4 施設	9	(1) 広報活動	16
		(2) 第8回中国四国地区アーカイブズ ウィーク	16
II 平成25年度業務報告		(3) 資料小展示	16
1 25年度概観	10	(4) 古文書入門講座	16
2 収蔵状況	11	(5) 古文書専修講座	17
3 調査	11	(6) 古文書実践講座	17
4 収集	11	(7) 古文書活用講座	17
(1) 諸家文書	11	(8) 歴史的公文書等の保存活用のための 連絡会議	17
(2) 行政文書	11	(9) 行政文書保存管理研修会	17
(3) 行政資料	12	11 研究活動	18
(4) 図書雑誌	12	(1) 研究実績	18
(5) その他(特設文庫)	12	(2) 研究会等	18
5 整理	12	12 その他	18
(1) 藩政文書	12		
(2) 諸家文書	12	III 平成26年度の計画	
(3) 行政文書	13	1 業務	20
(4) 行政資料	13	(1) 保存対策	20
(5) 図書雑誌	13	(2) 刊行物	20
(6) その他(特設文庫)	13	(3) 普及活動	20
6 保存対策	13	2 職員	21
(1) 修理	13	3 地方調査員	21
(2) 資料燻蒸	13	4 当初予算	21
7 利用	13		
(1) 文書館利用状況	13		
(2) ホームページ利用者数	13		
(3) 調査室(閲覧室)利用者数	13		
(4) 電子情報処理組織による申請等	13		
(5) 閲覧者数の状況	14		
(6) 閲覧文書点数の状況	14		
(7) 特別利用の状況	14		
(8) 貸出	15		

I 概要

1 沿革

(1) 設立

当館は、昭和 34 年 4 月に日本で初めての公立文書館として発足した。設立には、次の要因があった。

- ① 昭和 27 年に旧萩藩主毛利家から藩政に関する「毛利家文庫」約 5 万点の史料が県に寄託され、同文庫の保存と公開の措置をとる必要があった。
- ② 昭和 12 年に設けられた県史編纂所（終戦時に閉鎖）において収集・謄写した史料 3 千点の保存と利用を望む声があった。
- ③ 県立山口図書館は、明治 36 年の開館以来、郷土資料室の充実につとめて多くの原文書を収蔵しており、その効率的な利用が望まれていた。
- ④ 県立山口図書館郷土資料室には、県政発足以来の行政文書も収蔵されており、今後の継続的な行政文書の収集・保存・活用を図る必要があった。

これらの要望を充たす施設として、文書館の設立構想が立てられた。さらに山口県地方史学会による設立運動も行われ、昭和 34 年「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく県条例によって設置された。

(2) 年表

昭和34年度 (1959)		(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
34. 4. 1	山口県文書館設置条例により県教育委員会の一組織として設立される	
10. 1	専任職員が配置される	
12.18	書庫増築工事竣工（山口図書館）、引継文書の移管作業を開始	
昭和35年度 (1960)		(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
35. 4. 1	閲覧業務を開始する	
8. 1	三浦家文書受託	
11.30	「防長風土注進案 12 山口宰判上」刊行	
36. 3.10	「防長風土注進案 16 吉田宰判」刊行	
昭和36年度 (1961)		(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
36. 5.16	田中義一文書受託	
6.15	「山口県文書館概要」刊行	
6.15	「防長風土注進案 1 大島宰判上」刊行	
8.31	「防長風土注進案 15 舟木宰判」刊行	
10.30	山口県政発足九十年記念「明治初期県政史料展」開催	
11.10	「防長風土注進案 13 山口宰判下」刊行	
12.10	「防長風土注進案 2 大島宰判下」刊行	
37. 1.31	「防長風土注進案 17 美祢宰判」刊行	
3.30	「萩藩四冊御書附」刊行	
昭和37年度 (1962)		(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
37. 4.20	「防長風土注進案 3 奥山代宰判」刊行	
6.30	「防長風土注進案 4 前山代宰判」刊行	
8. 8	徳山毛利家文庫受託	
9.20	「防長風土注進案 19 前大津宰判」刊行	
11. 5	学制頒布九十年記念「山口県教育史料展」開催（～11.9）	
11. 5	学制頒布九十年記念「山口県教育史料解説目録」刊行	
12.10	「防長風土注進案 5 上関宰判上」刊行	
12.14	県庁行政文書年末収集開始	

38. 2.10	「防長風土注進案 18 先大津宰判」刊行	
3.30	「山口県文書館史料目録 1」刊行	
昭和38年度 (1963)		(館長 上村忠治<図書館長兼務>)
38. 4. 1	県行政文書の移管を開始（「山口県文書取扱規程」に基づく）	
6.30	「防長風土注進案 6 上関宰判下」刊行	
8.31	「防長風土注進案 7 熊毛宰判」刊行	
10.25	国体開催記念展「目で見る山口県の歴史」を開催（～11.3）	
10.25	「目で見る山口県の歴史」刊行	
12. 19	山内家文書受託	
39. 1.31	「防長風土注進案 20 当島宰判」刊行	
3.10	「防長風土注進案 8 都濃宰判」刊行	
3.26	山口県文書館条例が公布される（施行 39.4.1）	
3.26	山口県文書館規則が改正される（施行 39.4.1）	
3.31	山口県文書館設置条例が廃止される	
昭和39年度 (1964)		(館長 上村忠治<図書館長兼務>—7.5—木原立美<図書館長兼務>)
39. 5.31	「防長風土注進案 9 三田尻宰判上」刊行	
7.20	「防長風土注進案 11 徳地宰判」刊行	
9.20	「防長風土注進案 21 奥阿武宰判」刊行	
10.17	近世交通史料展開催（～10.18）	
12.10	「防長風土注進案 14 小郡宰判」刊行	
40. 3.10	「防長風土注進案 10 三田尻宰判下」刊行	
3.30	「山口県文書館史料目録 2」刊行	
昭和40年度 (1965)		(館長 木原立美<図書館長兼務>)
40.6.1	山口県文書館規則一部改正	
6.29	県教育委員会行政文書の移管を開始（「山口県教育委員会事務局文書取扱規程」の改正に基づく）	
9.20	「文書館ニュース 1号」刊行（以後年刊）	
11.10	「豊浦藩村浦明細書」刊行	
11.10	「文書館案内」刊行（以後不定期刊行）	
41.3.30	「防長風土注進案研究要覧」刊行	
昭和41年度 (1966)		(館長 兼清正徳)
41. 4. 1	山口県政史の編纂事業開始	
5.10	廨に指定される	
10.25	大村益次郎文書受託	
11. 3	「防長風土注進案」の編集スタッフ、西日本文化賞を受賞	
42. 3.30	「萩藩閥閥録 第 1 巻」刊行	
昭和42年度 (1967)		(館長 兼清正徳)
43. 3.30	「萩藩閥閥録 第 2 巻」刊行	
昭和43年度 (1968)		(館長 兼清正徳)
43. 4. 1	山口県文書館規則一部改正により、専門職員の職名が専門員となる	
昭和44年度 (1969)		(館長 兼清正徳)
44. 4. 1	山口県文書館規則一部改正により、専門職員に研究職が適用される（職名は研究員・専門研究員）	
45. 3.30	「萩藩閥閥録 第 3 巻」刊行	
昭和45年度 (1970)		(館長 兼清正徳)
45. 4. 7	日本育英会法施行令の規定による研究所施設に指定される	
46. 3.25	「山口県政史上・下」2巻刊行	

3.30	「萩藩閥閥録 第4巻」刊行	
3.30	「萩藩閥閥録遺漏」刊行	
昭和46年度 (1971)		(館長 兼清正徳)
46. 6. 7	文部省史料館主催「近世史料担当職員講習会 (西日本地区)」の会場となる	
7. 1	地方調査員制度を発足させる	
47. 3. 1	「山口県文書館研究紀要 第1号」刊行 (以後年刊)	
昭和47年度 (1972)		(館長 松村茂)
47.10.30	「山口県文書館史料目録3」刊行	
48. 3.20	「山口県史料古代編」刊行	
昭和48年度 (1973)		(館長 松村茂)
48. 7.23	新館舎が完成し、現在地に移転する	
7.23	新築移転記念「山口県文書館史料展」開催 (~8.18)	
49. 3. 1	「山口県内所在史料目録 第1集」刊行 (以後年刊)	
昭和49年度 (1974)		(館長 松村茂)
49. 5.20	「山口県文書館史料目録4」刊行	
50. 1. 1	成人大学古文書解読講座に協力 (以後平成11年度まで)	
昭和50年度 (1975)		(館長 田村武文)
51. 1.20	「山口県史料近世編 法制上」刊行	
2.24	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会 (通称全史料協) の創立大会を開催	
昭和51年度 (1976)		(館長 田村武文)
52.1.10	「山口県史料近世編 法制下」刊行	
2.24	古文書・行政文書取扱者講習会 (第1回) を開催	
昭和52年度 (1977)		(館長 田村武文)
53. 2.22	古文書・行政文書取扱者講習会 (第2回) を開催	
3.30	「山口県文書館史料目録5」刊行	
昭和53年度 (1978)		(館長 田村武文)
54. 3.20	「山口県史料中世編 上」刊行	
3.20	「山口県行政文書仮目録戦前の部」刊行	
昭和54年度 (1979)		(館長 木梨亮一)
54.4.~11.	「萩藩閥閥録第1・2・3・4巻・遺漏」再版刊行	
5.~3.0	山口県古文書所在確認緊急調査を実施	
10.17	全国都道府県史協議会を開催 (~10.18)	
昭和55年度 (1980)		(館長 高佐原茂郷)
55. 6.17	有光家文書受贈	
昭和56年度 (1981)		(館長 平田豊彦)
57. 2.20	「防長寺社由来 第1巻」刊行	
昭和57年度 (1982)		(館長 松本隆馬)
57.10.20	「防長寺社由来 第2巻」刊行	
58. 2.20	「防長寺社由来 第3巻」刊行	
3. 0	「防長風土注進案と同和問題」刊行	
昭和58年度 (1983)		(館長 山下義雄)
58.11. 1	古文書解読 (基礎) 講座を開催 (以後平成17年度まで)	
12.26	「防長寺社由来 第4巻」刊行	
59. 2.20	「防長寺社由来 第5巻」刊行	
3.31	「両公伝史料仮目録」刊行	
昭和59年度 (1984)		(館長 山下義雄)

59. 6.12	県庁舎竣工記念展「目でみる萩から江戸へ」開催（13日間）	
60. 1.16	「防長寺社由来 第6巻」刊行	
3.26	山口県文書館条例改正（施行 60.4.1）	
3.26	山口県文書館規則改正（施行 60.4.1）	
3.30	「県庁伝来旧藩記録等仮目録」刊行	
昭和60年度（1985）		（館長 宮本幹雄）
60. 4. 1	副館長が置かれる（山口県教育委員会行政組織規則改正 60.3.29）	
10.29	有光家文書が県指定有形文化財に指定される	
61. 2.10	「防長寺社由来 第7巻」刊行	
3.30	「諸文庫仮目録Ⅰ」刊行	
昭和61年度（1986）		（館長 宮本幹雄）
61.10.15	「萩藩閥閥録 第1巻」三版刊行	
62. 1.10	「萩藩閥閥録 第2巻」三版刊行	
1.30	「府県史料 山口県 1」刊行	
3.30	「諸文庫仮目録Ⅱ」刊行	
昭和62年度（1987）		（館長 宮本幹雄）
62. 6.30	「萩藩閥閥録 第3巻」三版刊行	
11.11	「萩藩閥閥録 第4巻」三版刊行	
63. 1.14	「府県史料 山口県 2」刊行	
3.30	「諸文庫仮目録Ⅲ」刊行	
昭和63年度（1988）		（館長 斎藤 博）
63. 7.11	「萩藩閥閥録遺漏」三版刊行	
11.30	「府県史料 山口県 3」刊行	
64. 1. 2	「萩藩閥閥録 別巻」刊行	
3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅰ」刊行	
3.30	「山口県文書館要覧」刊行	
3.30	「年報」刊行（以後年刊）	
平成元年度（1989）		（館長 那須 敬）
元. 9.16	開館30周年記念展示会「むら・まち・うら」開催（～10.15）	
10.10	開館30周年記念「絵図でみる防長の町と村」刊行	
11.30	「府県史料 山口県 4」刊行	
12. 3	開館30周年記念司馬遼太郎講演会「歴史の中の防長二州」開催	
2. 3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅱ」刊行	
3.30	開館30周年記念「山口県文書館の30年」刊行	
平成2年度（1990）		（館長 那須 敬）
2. 4.11	皇太子浩宮殿下山口県中世史研究のため来館	
11.30	「府県史料 山口県 5」刊行	
3. 3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅲ」刊行	
平成3年度（1991）		（館長 那須 敬）
3.11.30	「府県史料 山口県 6」刊行	
4. 3.30	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅳ」刊行	
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録 1940年代－1950年代」刊行	
平成4年度（1992）		（館長 松永精一郎）
4. 5. 0	古文書専修講座を毎月開催（以後毎年）	
6.22	有光家文書が国指定重要文化財（古文書）に指定される	
8.13	古文書活用講座を開催（～8.19、以後毎年）	
5. 3.31	「徳山毛利家文庫仮目録Ⅴ」刊行	

3.31	「山口県文書館蔵行政文書目録 1940年代完結簿冊文書」刊行
平成5年度 (1993)	(館長 松永精一郎)
6. 3.31	「山口県文書館諸家文書目録 1 柳井市金屋小田家文書第 1 分冊」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録 2 リーフレット・ポスター1940年代～1960年代」刊行
平成6年度 (1994)	(館長 山本 直)
7. 3.31	「山口県文書館諸家文書目録 2 柳井市金屋小田家文書第 2 分冊」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政文書目録 1930年代完結簿冊文書」刊行
平成7年度 (1995)	(館長 山本 直)
8. 3.29	「山口県文書館諸家文書目録 3」刊行
3.29	「山口県文書館蔵行政資料目録 3 地図 1950年代まで」刊行
平成8年度 (1996)	(館長 宮本典彦)
8. 6.25	山口県文書館整備構想検討会を開催 (以後 8.23、9.12、10.15 の計 4 回開催)
11.20	山口県文書館整備構想検討会報告書作成
9. 3.31	「山口県文書館諸家文書目録 4」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政文書目録 1910・20年代完結簿冊文書」刊行
平成9年度 (1997)	(館長 宮本典彦)
9. 2. 1	企画小展示「毛利元就関係文書」開催 (～12月、毎月展示替え)
4.30	「大内版妙法蓮華経板木」が県指定有形文化財に指定される
10. 2. 1	文書館利用規程を改正
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録 4 1960年代第 1 分冊」刊行
3.31	「山口県文書館諸家文書目録 5 佐藤家文書」刊行
平成10年度 (1998)	(館長 宮本典彦)
10. 4.21	古文書入門講座を毎月開催 (以後毎年)
6.30	「大内版法華経板木」59枚が国指定重要文化財 (歴史資料) に指定される
11. 1.21	第 1 回文書館ウィーク開催 (～1.27)
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録 5 1960年代第 2 分冊」刊行
3.31	「毛利家文庫目録別冊 1 公儀事諸控総目次 I」刊行
平成11年度 (1999)	(館長 宮本典彦)
11. 4. 1	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会研修研究委員会事務局を引受け
12. 1.20	第 2 回文書館ウィーク開催 (～1.27)
3.23	山口県文書館規則第 3 条第 1 項改正 (但書削除、土曜日全日開館)
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録 6 1960年代第 3 分冊」刊行
3.31	「毛利家文庫目録別冊 2 公儀事諸控総目次 II」刊行
平成12年度 (2000)	(館長 青木正典)
12. 4. 1	土曜日全日開館 (9:00～17:00) を開始
13. 1.18	第 3 回文書館ウィーク開催 (～1.24)
3.30	「山口県文書館蔵行政文書目録 1900年代以前完結簿冊文書」刊行
平成13年度 (2001)	(館長 青木正典)
14.1.18	第 1 回文書館デイズ開催 (～1.20)
3.29	「山口県文書館諸家文書目録 6 上関町吉田家文書」刊行
3.29	「山口県文書館蔵行政資料目録 7 1960年代第 4 分冊」刊行
平成14年度 (2002)	(館長 青木正典)
14. 4. 1	文書館資料保存修復事業・館藏品情報発信事業に着手 (緊急雇用創出事業)
12.20	「山口県文書館特設文庫目録 1 新聞文庫目録 (近代)」刊行
15. 1.17	第 2 回文書館デイズ開催 (～1.19)

3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録 8 1940年代以前」刊行
3.31	山口県文書館ホームページ更新（文書館・博物館・美術館情報発信事業）
<hr/>	
平成15年度（2003）	（館長 村松優一）
15. 4. 1	文書館収集資料整理事業に着手（緊急雇用創出事業、～16年度）
16. 1.23	第3回文書館デイズ開催（～1.25）
2.10	「山口県文書館特設文庫目録 2 雑誌文庫目録（近代）」刊行
3.31	「毛利家文庫目録別冊 3 諸事小々控総目次 I」刊行
3.31	ホームページに画像データベース（毛利家文庫絵図・写真・袋入絵図・ポスター・リーフレット）を追加
<hr/>	
平成16年度（2004）	（館長 村松優一）
16.10.27	第30回全史料協全国大会及び研修会を山口県総合保健会館で開催（～10.29）
10.29	山口県教育委員会事務局等公文書取扱規定の一部改正（11.1施行）
17. 1.21	第4回文書館デイズ開催（～1.23）
3.31	「山口県文書館諸家文書目録 7 上関町国行家・佐倉谷家・吉崎家文書」刊行
3.31	「山口県文書館蔵行政資料目録 9 地図 1960年代」刊行
<hr/>	
平成17年度（2005）	（館長 木原 宏）
17. 6. 9	山口県行政文書（県庁文書 12,597点、郡役所文書 952点）が国指定重要文化財（歴史資料）に指定される
6.10	第5回文書館デイズ開催（～6.12）
18. 1.20	第1回「山口お宝展」（重要文化財「大内版法華経板木」を展示）開催（～2.12）
2.28	「毛利家文庫目録別冊 4 諸事小々控総目次 II」刊行
3.30	「山口県文書館蔵行政文書目録 5 一郡役所文書一」刊行
<hr/>	
平成18年度（2006）	（館長 木原 宏）
18. 6. 1	第1回中国四国地区アーカイブズウィーク「山口県文書館史料刊行事業展」・「備後山内氏と一豊をめぐる人々」開催（～6.7）
10. 8	日曜開館（月曜閉館）を試行開始
11.10	第6回文書館デイズ「御屋形様の文書ー雪舟のパトロン大内氏ー」開催（～11.12）
19. 1.19	第2回「山口お宝展」（吉田松陰所用の印章）開催（～2.18）
3.30	「毛利家文庫目録別冊 5 諸事小々控総目次 III」刊行
3.30	「行政資料目録 10 リーフレット・ポスター 1970年代～1980年代」刊行
3.30	「山口県内市町村役場文書保存状況調査報告書」刊行
<hr/>	
平成19年度（2007）	（館長 熊寄歳介）
19. 4. 1	日曜開館（月曜閉館）開始
6.1	第2回中国四国地区アーカイブズウィーク「街道を行く」開催（～6.7）
10.4	徳山毛利家文庫・将軍発給文書を公開（閲覧提供）開始
11.5	国文学研究資料館アーカイブズ・カレッジ〈短期コース〉の会場となる（～11.10）
20. 1.18	第3回「山口お宝展」（村上水軍関係文書）開催（～2.17）
3.31	「諸家文書目録 8 平生町佐合島佐川家文書 第1分冊」刊行
3.31	「行政文書件名目録 1 山口県布達達書 I ー明治4～10年ー」刊行
<hr/>	
平成20年度（2008）	（館長 熊寄歳介）
20. 6. 1	第3回中国四国地区アーカイブズウィーク「吉田松陰自賛肖像」開催（～6.8）
10. 1	資料小展示「天璋院篤姫と長州ー文書の中の篤姫ー」（～11.16）
21. 1.17	大学入試センター試験・日本史 A で当館のことが取り上げられる
3.21	第4回「山口お宝展」（鎌倉時代の塩浜絵図ー長門国正吉郷入江塩浜絵図ー）開催（～4.19）

3.31	「諸家文書目録 9 平生町佐合島佐川家文書 第 2 分冊」刊行
3.31	「行政文書件名目録 2 山口県布達達書Ⅱ ー明治 11～14 年ー」刊行
<hr/>	
平成21年度 (2009)	(館長 熊寄歳介)
(通年)	開館 50 周年記念として、資料小展示を「シリーズ アーカイブズを守る」という共通テーマで実施
(通年)	文書館情報発信充実事業
(通年)	全史料協事務局業務 (副会長 館長熊寄歳介)
21. 6. 2	開館 50 周年記念として、第 4 回中国四国地区アーカイブズウィーク「天下人と毛利氏ー戦国のアーカイブズー」を開催 (～6.9)
21.11.17	当館所蔵「吉田松陰関係資料」754 点が山口県指定有形文化財 (歴史資料) に指定
22. 3. 3	大内氏山口開府 650 年「山口お宝展」協賛展示 (「足利将軍の出した文書」～4.4)
3.31	「山口県文書館所蔵アーカイブズガイドー幕末維新編ー」(開館 50 周年記念出版) 刊行
<hr/>	
平成22年度 (2010)	(館長 熊寄歳介)
(通年)	文書館情報発信充実事業
(通年)	全史料協事務局業務 (副会長 館長熊寄歳介)
22. 6. 1	第 5 回中国四国地区アーカイブズウィーク「長州藩幕末維新資料」を開催 (～6.6)
8.8	行政文書保存管理研修会を開催 (102 機関 114 名参加)
10.15	国指定重要文化財 (歴史資料) 「日明貿易船旗」「高洲家文書」118 点が当館に寄託される
2.18	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催 (13 市町 30 名参加)
3.31	「行政文書件名目録 3 山口県布達達書Ⅲ ー明治 15～19 年ー」刊行
<hr/>	
平成23年度 (2011)	(館長 熊寄歳介)
(通年)	文書館情報発信充実事業
(通年)	重要文化財 山口県行政文書修理事業 (平成 23 年度～平成 25 年度)
23. 6. 1	第 6 回中国四国地区アーカイブズウィーク「ポスター・写真・映像に見る昭和のやまぐち～昭和 38 年山口国体のころ～」を開催 (～6.5)
8.19	行政文書保存管理研修会を開催 (98 機関 105 名参加)
11.1	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催 (全 19 市町 37 名参加)
11.14～ 2.29	館改修工事につき全面休館
3.31	文書館のウェブページを全面的に更新し、検索データベースの件数を大幅に増やした。
<hr/>	
平成24年度 (2012)	(館長 長谷川信明)
(通年)	重要文化財 山口県行政文書修理事業 (平成 23 年度～平成 25 年度)
24. 6. 1	第 7 回中国四国地区アーカイブズウィーク「絵図と古文書で歩く萩往還」を開催 (～6.10)
9.10	行政文書保存管理研修会を開催 (113 名参加)
11.1	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催 (16 市町、県ほか 42 名参加)
1.31	毛利家文庫遠用物 (近世後期) の整理を終了し、8,933 点の閲覧提供を開始
<hr/>	
平成25年度 (2013)	(館長 長谷川信明)
(通年)	重要文化財 山口県行政文書修理事業 (平成 23 年度～平成 25 年度)
25. 6. 1	第 8 回中国四国地区アーカイブズウィーク「山口県災害記」を開催 (～6.9)
10.1	1950 年代文書の閲覧提供開始
11.1	歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議を開催 (12 市町、県ほか 35 名参加)
3.15	徳山毛利家文庫絵図の整理を終了し、224 点の閲覧提供を開始

2 組織（平成 25. 4. 1 現在）

館長（1名）—— 副館長（1名）—— 専門研究員（5名）
総務（兼務、2名）
嘱託職員・臨時職員（2名）
地方調査員（6名）

3 決算（一般会計、単位:千円）

平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
14,382	27,213	20,163	23,180	14,997	15,213

4 施設

県立山口図書館・点字図書館等と併設、構造は RC

敷地面積 10,169 m²、延べ床面積 9,819 m²

文書館面積 1,232 m²（利用者ゾーン 209 m²、業務ゾーン 235 m²、書庫<地下 2 層・新書庫>）

図書館面積 7,855 m²、点字図書館面積 190 m²、レクチャールーム面積 542 m²

書架総延長 本館書庫 6.31km、春日山書庫 3.00km、計 9.31km

Ⅱ 平成 25 年度業務報告

1 25 年度概観

今年度の主だった活動状況を概観すれば以下のとおりである。

アーカイブズウィーク

6 月 1 日（土）～9 日（日）に第 8 回中国四国地区アーカイブズウィーク事業を行った。これは中四国地区のアーカイブズが、おおむね 6 月上旬に一斉に広報・普及・啓発活動を行うもので、本館では「山口県災害記」をテーマとして、アーカイブズ展示「山口県の大災害～地震、台風、高潮、土砂災害～」、歴史探究講座「語り継がれた震災～西日本大震災に備える」・「山口県文書館所蔵の災害関係史料、ギャラリートーク、アーカイブズ歴史小話、文書館を使ってみよう！などを行った。→P16

調査活動

地方調査員制度による県内史料所在調査への協力助言等を行い、県史編さん事業の調査にも協力した。→P15

収集

3 氏から追加分含めて 3 件 556 点の寄託、13 氏から 13 件 5,867 点の寄贈を受けた。→P11

行政文書・資料の引継ぎ

県庁各課等から行政文書 417 点、行政資料 1,035 点を引き継いだ。→P11

整理・保存対策

寄贈・寄託を受けた新収諸家文書の整理を進め、整理の終わったものについては逐次閲覧に供した。また藩政文書、行政文書、行政資料、図書も整理を進めた。→P12

資料の活用と保存を図るため、毛利家文庫のうち損傷の顕著なものについて修理を行った。新収文書について、虫害防除と保存対策のため天幕燻蒸により資料燻蒸を行った。→P13

普及啓発事業

アーカイブズウィークのほか、以下の普及啓発活動を行った。

古文書講座

「古文書入門講座」「古文書専修講座」「古文書実践講座」の 3 講座を開設し、それぞれ通年 10 回実施した。→P17

文書館活用講座

教員対象の「授業で役立つ 文書館活用講座」を 8 月に 4 日連続で実施した。→P18

歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議

公文書及び地域に伝存する文書記録類を歴史資料として保存活用することに関して、県及び市町相互の連絡と協調を図り、もって行政の円滑な推進及び文化の発展に寄与することを目的として、連絡会議を開催した。→P18

（行政文書保存管理研修会は、本年度は学事文書課の都合により実施しなかった）

利用者

今年度の閲覧者は、1,763 人（昨年度 2,204 人）、また、資料小展示の観覧者などを加えた入館者は 4,683 人（昨年度 5,139 人）であった。

閲覧者は一般、学生、公務員、教員の順に多く、県史編纂関係者の利用も目立つ。→P14

2 収蔵状況

(平成 26. 3.31 現在)

藩政文書	諸家文書	行政文書	行政資料	図 書	その他 (特設文庫)	総 計
93,512	136,350	77,232	145,383	41,413	21,794	515,684

上記のうち、25 年度新たに収蔵（整理、追加登録）した資料の点数は、次のとおりである。

藩政文書	諸家文書	行政文書	行政資料	図 書	その他 (特設文庫)	総 計
0	6,423	417	1,035	578	37	8,490

3 調査

7 月 13 日 古畑家（下関市）
10 月 24 日 山本家（下関市）

4 収集

(1) 諸家文書

(ア) 寄贈

兼重家文書	4 点
御所河内大堤水子中文書	58 点
桜井家文書	10 点
田鍋家文書	26 点
津田家文書	82 点
平野家文書	113 点
藤津家文書（追加）	305 点
堀江静子家文書	1,006 点
溝部家文書	48 点
元森家文書	26 点
山県家文書（追加）	208 点
吉武家文書（追加）	77 点
和田敏英収集史料	3,904 点
	(計 5,867 点)

(イ) 寄託

氏本家文書	369 点
古畑家文書（追加）	155 点
益田高友家文書	32 点
	(計 556 点)

(2) 行政文書

各課（所）に廃棄予定文書の引継依頼を行い、417 点を引き継いだ。引き継いだ文書の主なものは以下のとおり。

地域政策課	145 点
農村整備課	71 点
広報広聴課	42 点

(3) 行政資料

・冊子	644 点
・リーフレット類	386 点
・ポスター類	—
・地図類	5 点
・図面類	—
・35 mmネガフィルム	—
・写真資料	—
・16 mm映画フィルム	—
・ビデオテープ	—
・録音テープ	—

(計 1,035 点)

(4) 図書雑誌 578 点

(5) その他 (特設文庫)

次の資料を整理し、仮目録に追加登録した。

・一般郷土史料	37 点
・教科書文庫	—
・雑誌文庫	—
・文化財文庫	—

5 整理

(1) 藩政文書

(ア) 徳山毛利家文庫

絵図類の整理をすすめ、224 点の閲覧提供を開始した。

(2) 諸家文書

次の文書を整理し、仮目録を作成した。

名称	内容等	点数
兼重家文書	第二奇兵隊士	4 点
御所河内大堤水子中文書	区有文書	58 点
桜井家文書	萩藩国司家臣	10 点
田鍋家文書	奇兵隊士・陸軍軍人	26 点
津田家文書	村長・鉄道役員	82 点
平野家文書	陸軍軍人・山口県警察官	113 点
藤津家文書 (追加)	材木業	305 点
堀江静子家文書	村会議員・商家	1,006 点
溝部家文書	陸軍軍人・教員・図書館書記	48 点
元森家文書	奇兵隊士	26 点
山県家文書 (追加)	萩藩阿川毛利家臣	208 点
吉武家文書 (追加)	陸軍軍人	77 点
和田敏英収集史料	教員・コレクション	3,904 点
氏本家文書	神舞	369 点
古畑家 (追加)	コレクション (阿川毛利家・鹿野岩崎家)	155 点
益田高友家文書	石見国人・萩藩問田益田家臣	32 点

(計 6,423 点)

(3) 行政文書

平成 25 年度収集文書 417 点について整理し、仮目録を作成した。
1950 年代完結文書 4,459 点の閲覧提供を開始した。

(4) 行政資料

平成 25 年度収集文書 1,035 点について整理し、仮目録を作成した。

(5) 図書雑誌

平成 25 年度受入図書 578 点について、追加登録した。

(6) その他（特設文庫）

平成 25 年度収集資料 37 点について整理し、仮目録に追加登録した。

6 保存対策

(1) 修理（行政文書）

行政文書 県庁戦前 A 士族および郡役所文書のうち損傷の著しい 5 冊を一般社団法人 国宝修理装演師連盟（福岡県太宰府市）に業務委託し修理した（国庫補助事業 県 50%）。絵図の修理は、今年度は実施しなかった。

(2) 資料燻蒸

12 月 6 日～10 日、山口図書館レクチャールーム前で天幕燻蒸によりおこなった。薬剤はエキヒューム S。

7 利用

(1) 文書館利用状況

開館日数 271 日（前年度 278 日）
入館者 4,683 人（前年度 5,139 人）
閲覧者 1,763 人（前年度 2,204 人）であった。

なお、日曜開館の閲覧者実績は、平均 5.0 人（前年度 6.4 人）、平日の閲覧者実績は 6.8 人（同 8.1 人）、土曜日は 6.8 人（同 8.8 人）であり、全体の平均は 6.5 人（同 7.9 人）であった。減少の理由として、県史編纂に関する利用が減ったことがあげられる。

このうち、閲覧者の内訳と閲覧文書点数の状況は、以下（5）及び（6）のとおり。

(2) ホームページ利用者数

平成 15 年 4 月から供用を開始したホームページのアクセス件数は、平成 25 年度末現在で 504,360 件（この 1 年間では 108,165 件）となった。

(3) 調査室（閲覧室）利用者数

区分	入館者	閲覧者	特別使用区分	複写台	絵図室	特別室	合計
H25年度 (H24年度)	4,683 (5,139)	1,763 (2,204)	H25年度 (H24年度)	989 (1,254)	142 (310)	12 (39)	1,143 (1,603)

(4) 電子情報処理組織による申請等

文書掲載等承認の手続きとして、利用者の便宜を図る観点から利用規定を改正し、平成 18 年 9 月 1 日から電子申請ができることにしている。

(5) 閲覧者数の状況

職業		平成 25 年度				平成 24 年度	
		県内 (人)	県外 (人)	合計 (人)	比率 (%)	合計 (人)	比率 (%)
教員	大学	69	108	177	12.3	262	14.6
	小・中・高校	34	2	36		55	
	その他	2	2	4		4	
学生	大学院	20	72	92	21.0	169	24.5
	大学・その他	242	37	279		370	
公務員	国	1	2	3	15.9	11	14.7
	都道府県	132	21	153		201	
	市町村	89	35	124		112	
博物館・研究機関		23	24	47	2.7	56	2.5
報道・出版		27	18	45	2.7	38	1.7
その他一般		687	116	803	45.5	926	42.0
合計		1,326	437	1,763	100.0	2,204	100.0
前年度比		-284	-157	-441	—	+252	—
S44 年以來の累計		—	—	89,517	—	87,754	—

(6) 閲覧文書点数の状況

区分	平成 25 年度		平成 24 年度	
	点数 (点)	比率 (%)	点数 (点)	比率 (%)
毛利家文庫	12,317	53.0	10,786	44.8
徳山毛利家文庫	240	1.0	816	3.4
県庁伝来旧藩記録	361	1.6	527	2.2
山口小郡宰判記録	17	0.1	66	0.3
郡役所文書	181	0.8	182	0.8
行政文書	3130	13.5	2,546	10.6
行政資料	406	1.7	300	1.2
諸家文書	4,412	19.0	5,554	23.1
三卿伝史料	67	0.3	102	0.4
両公伝史料	692	3.0	952	4.0
県史編纂所史料	291	1.3	233	1.0
一般郷土史料	223	1.0	192	0.8
軸物資料	167	0.7	296	1.2
複写資料	645	2.8	1,426	5.9
図書	62	0.3	90	0.4
その他	31	0.1	3	0.0
合計	23,242	100.0	24,071	100.0
S44 年度以降の累計	860,271	—	837,029	—

(7) 特別利用の状況

区分	特別閲覧	複写	出版物等 掲載	模造品 製作	貸出	レファレンス 件数
H25 年度	38	989	271	0	8	1,071
(H24 年度)	(42)	(1,254)	(278)	(0)	(11)	(1,082)

(8) 貸出

伊藤公資料館	企画展「伊藤博文と杉孫七郎」 4/24～5/29（忠正公伝など4点）
頼山陽史跡資料館	特集展「頼山陽と幕末の群像」 6/27～9/10（吉田松陰関係資料14点）
九州歴史資料館	特別展「戦国武将の誇りと祈り—九州の覇権のゆくえ—」 9/1～11/30（大内版法華経板木2点）
八代市立博物館 未来の森ミュージアム	秋季特別展覧会「秀吉が八代にやって来た」 10/18～12/9（毛利家文庫1点）
安芸高田市 歴史民俗博物館	特別展示「毛利輝元」 10/16～12/15（毛利家文庫1点）
広島城	企画展「輝元の分岐点」 10/29～12/13（毛利家文庫など6点）
防府市地域交流センター （アスピラート）	企画展「お江戸の旅展」 3/1～4/3（諸家文書1点）
兵庫県立博物館	特別展「軍師官兵衛」 3/1～5/15（毛利家文庫4点）

8 刊行物

25年度の刊行物

- ① 『山口県文書館研究紀要』第41号（H26.3.28発行） A5判174頁
- ② 『文書館ニュース』第48号（H26.3.28発行） A4判8頁

9 地方調査員

(1) 地方調査員会議

第1回 平成25年6月20日 県立山口図書館第2研修室

- ・活動報告
- ・調査打ち合わせ
- ・研修「大内時代山口古図」専門研究員 山田稔

第2回 平成25年11月1日 山口県庁共用第5会議室

- ・第1部 市町の公文書保存に関する最新事例の紹介
「福岡共同公文書館の開館とその取組について」
福岡県立公文書館長・福岡県市町村公文書館長 小原康弘
- ・第2部 地域の文書記録類保存に関する情報交換
山口県文書館における文書の整理実務について
市町の現状と課題に関する意見交換

(2) 地方調査員による文書調査報告実績

地方調査員から延べ23.5日、188時間の活動実績報告があった。

(3) 地方調査員名簿（任期 平成25.4.1～平成27.3.31）

担当地域	氏名	担当地域	氏名
玖珂	恵本 洋嗣	厚狭	吉本 一雄
玖珂	山田 豊	豊浦	安富 静夫
都濃	佐伯 隆	大津	岡藤 正作
吉敷	佐久間 努	阿武	寺山 忠満

10 広報・普及

(1) 広報活動

『文書館ニュース』第48号（A4判8頁）を発行した。

その他、教育庁、県広報広聴課の広報媒体やイントラ、ホームページ、テレビなどマスコミを使い、諸事業の広報を行った。

(2) 第8回中国四国地区アーカイブズウィーク

6月1日（土）～9日（日）実施。参加者は延べ1,105人。詳細は以下のとおり。

<アーカイブズ展示>6月1日（土）～9日（日）（文書館閲覧室）

「山口県の大災害 ～地震、台風、高潮、土砂災害～」

参加者 655人。

<歴史探究講座>6月8日（土）（県立山口図書館レクチャールーム）

「語り継がれた震災 ～西日本大震災に備えて～」

「山口県文書館所蔵の災害関係資料」

参加者 150人。

<ギャラリートーク>6月8日（土）・9日（日）（文書館閲覧室）

専門研究員がアーカイブズ展示の解説を行った（計4回）。

参加者 112人。

<文書館を使ってみよう！>6月2日（日）（県立山口図書館第1研修室・文書館閲覧室）

専門研究員が文書の取り扱い方や文書館の利用方法をガイドした。

参加者 15人。

<アーカイブズ歴史小話>6月2日（日）・9日（日）（県立山口図書館第1研修室）

専門研究員がアーカイブズに関する「ちょっといい話」をリレー形式で紹介した。

参加者 111人。

<書庫見学ツアー>6月1日（土）～9日（日）（文書館書庫）

専門研究員の解説で、普段公開していない書庫の見学ツアーを行った。（計11回）

参加者 62人。

(3) 資料小展示

閲覧室の入口に設置している展示ケースを使用して、以下の小展示を行った。

期間	展示題目	担当
4月	「芸州吉田行程記」	山田
5月	「山口町人安部氏の奥州旅日記」	山崎
6月	「山口県災害記」	伊藤
7月	「伊勢神宮と山口」	金谷
8月	「大友宗麟の発給文書」	和田
9月	「目安箱の投げ文」	吉積
10月	「銃陣太鼓」	山本
11月	「萩藩郡方地理図師 有馬喜惣太」	山田
12月	「家督相続と文書-萩藩士能美家の場合-」	山崎
1・2月	「厚東氏と同時代の武将たち」	和田
3月	「巨漢 龍門好五郎」	金谷

(4) 古文書入門講座（於：県立山口図書館第1研修室）

古文書入門講座を5～2月の毎月1回、第4土曜日（14時～16時）に開催した。今年度も申込者が多く、抽選の上、受講者30名を決定した。実施内容は次のとおり。

日程	主題	講師
5月～9月	古文書に慣れよう	山本
10月～2月	国司広孝「聞書」（毛利家文庫16叢書36）を読む	金谷

(5) 古文書専修講座（於：県立山口図書館第1研修室）

各地で開催されている古文書講座や、当館開催の入門講座など、古文書講座の受講経験者を対象に、5～2月の毎月1回、第2土曜日（14時～16時）に開催した。受講者は、抽選の上36名を決定した。実施内容は次のとおり。

日程	主題	講師
5月～9月	「大正時代の書状」（もりのしげり寄贈礼状を読む）	山田
10月～2月	「宝永地震の記録を読む」「神代直人捕縛の謎」	伊藤

(6) 古文書実践講座（於：県立山口図書館第1研修室ほか）

各地で開催されている古文書講座や、当館開催の入門講座など、古文書講座の受講経験者を対象に、5～2月の毎月1回、第2土曜日（10時～12時）に開催した。受講者は、21名であった。実施内容は次のとおり。

日程	主題	講師
5月～2月	「萩藩の孝人・奇特人」「城下町萩の地誌」「柳井津小田氏の旅日記」の各史料を自主的に解説する	山崎・和田 ・吉積

(7) 古文書活用講座（於：県立山口図書館第1研修室等）

県内の小・中・高校・特別支援学校の教員を対象に、古文書の基礎知識や読解力の習得を通じて古文書への関心を深め、学校教育に古文書を活用する契機を提供することを目的に、8月6～9日の4日間、集中して実施した。受講者は6名で、その内容は次のとおり。

日程	午前（9時30分～12時）	午後（13時～16時）
8/6（火）	開講式 文書館を知ろう（金谷）	資料の探し方や活用方法を学ぼう（山本）
7（水）	古文書の基礎を学ぼう（山崎） 古文書を読んでみよう（和田）	絵図・地図の基礎を学ぼう（山田） 絵図・地図を見てみよう（山田・山本）
8（木）	資料の活用方法－絵図を片手に街を歩こう－（伊藤・金谷・山本）	授業で使える資料を集めてみよう①
9（金）	授業で使える資料を集めてみよう②	授業で使える資料を集めてみよう③ 発表会 閉講式

(8) 歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議

公文書館法（昭和62年法律第115号）および公文書管理法第34条（平成21年法律第66号）の趣旨に基づき、県及び県内の市町が保管する公文書及び地域に伝存する文書記録類を歴史資料として保存活用することに関して、県及び市町相互の連絡と協調を図り、もって行政の円滑な推進及び文化の発展に寄与することを目的として実施した。

11月1日に実施し、市町等から35名の参加があった。

(9) 行政文書保存管理研修会

（本年度は実施しなかった）

11 研究活動

(1) 研究実績

- ・金谷匡人
 - 「『防長風土注進案』「風俗」の項にみる村の「一年」（除正月）」
『山口県文書館研究紀要』第41号（平成26年3月）
 - 「山口県文書館所蔵アーカイブズガイドー学校教育編（4）ー」
『山口県文書館研究紀要』第41号（平成26年3月）
- ・山田 稔
 - 『長門国守護厚東氏発給文書』（山口県地方史学会創立60周年記念）（平成26年1月）
 - 「近世街道絵図「中国行程記」について」
『山口県文書館研究紀要』第41号（平成26年3月）
- ・和田秀作
 - 『長門国守護厚東氏発給文書』（山口県地方史学会創立60周年記念）（平成26年1月）
 - 「周防右田氏の相伝文書について」 『山口県文書館研究紀要』第41号（平成26年3月）
 - 「山口県文書館所蔵アーカイブズガイドー学校教育編（4）ー」
『山口県文書館研究紀要』第41号（平成26年3月）
- ・山崎一郎
 - 「近世における毛利家文庫の形成と萩藩庁文書」 『史学研究』第280号（平成25年7月）
 - 「萩藩士家における「御判物・御証文」の保存と管理」
『アーカイブズの構造認識と編成記述』（平成26年3月）
 - 「十八世紀萩藩における文書管理・記録作成と藩士柿並市右衛門
—当職所記録仕法・江戸御国大記録方—」
『山口県文書館研究紀要』第41号（平成26年3月）
- ・山本明史
 - 「山口県文書館所蔵アーカイブズガイドー学校教育編（4）ー」
『山口県文書館研究紀要』第41号（平成26年3月）
- ・伊藤一晴
 - 「山口県における林野下戻運動」 『山口県史研究』第22号（平成26年3月）
 - 「宝永四年地震関係資料—徳山毛利家文庫を中心に—」
『山口県文書館研究紀要』第41号（平成26年3月）
- ・吉積久年
 - 「萩焼の史料」 『山口県文書館研究紀要』第41号（平成26年3月）

(2) 研究会等

- ・金谷匡人
 - 山口県消防学校講義「山口県の歴史と風土」（7/10）
 - 周南ふるさと歴史講座「周防山間部の戦国社会—鶴岡系図のこと—」（9/18）
- ・山田 稔
 - 山口県立大学博物館概論講義（7/7）
 - 萩市中央歴史講座「防長の古地図—その特徴と魅力—」（8/30）
 - 山口県立大学博物館教育論講義（11/20）
 - 豊北町文化研究会講演「防長の古地図—その特徴と魅力—」（11/23）
 - 鴻ノ峯学級講演「近世防長の名産物」（1/14）
- ・和田秀作
 - 雪舟研究会（7/9）
- ・山崎一郎
 - 国文学研究資料館「幕藩政アーカイブズの総合的調査・研究」（6/29～30、10/5～6）報告
「萩藩における文書管理とその担い手について—当職所記録方を中心に—」（10/5）

第 4 回歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議「山口県文書館における文書の整理実務について―諸家文書を中心に―」（11/1）

公立図書館職員専門講習会「山口県文書館における文書の整理実務について―諸家文書を中心に―」（2/6）

- ・山本明史

第 117 回山口県地方史研究大会報告「山口県文書館と学校教育の連携」（6/16）

- ・伊藤一晴

平成 25 年度ふるさと大道を掘り起こす会・研修会講師（5/17）

平成 25 年度美祢市ふるさと歴史講座「山口県の大災害～地震、大風、高潮、土砂災害～」講師（8/24）

12 その他

Ⅲ 平成 26 年度の計画

1 業務

(1) 保存対策

国指定重要文化財 山口県行政文書の修復

(2) 刊行物

『山口県文書館年報（平成 25 年度）』（デジタル刊行）

『山口県文書館研究紀要』第 42 号の刊行

『文書館ニュース』第 49 号の発行

(3) 普及活動

アーカイブズウィーク（対象 一般県民）

平成 26 年 5 月 31 日（土）～6 月 8 日（日）

会場 文書館閲覧室、県立山口図書館レクチャールーム及び研修室等

古文書講座

古文書入門講座（定員 30 名）

会期 平成 26 年 5 月～平成 27 年 2 月の第 4 土曜日（10 回）

会場 県立山口図書館研修室

対象 一般県民

古文書専修講座（定員 36 名）

会期 平成 26 年 5 月～平成 27 年 2 月の第 2 土曜日（10 回）

会場 県立山口図書館研修室

対象 一般県民

古文書実践講座（定員 21 名）

会期 平成 26 年 5 月～平成 27 年 2 月の第 2 土曜日（10 回）

会場 県立山口図書館研修室

対象 一般県民

授業で役立つ 文書館活用講座

会期 平成 26 年 8 月 5 日（火）～6 日（水） 入門コース

8 月 7 日（木）～8 日（金） 実践コース

会場 文書館・県立山口図書館研修室等

対象 県内の小・中・高・特別支援学校の教員

行政文書保存管理研修会（対象 行政機関の担当者）

歴史的公文書等の保存活用のための連絡会議（対象 行政機関の担当者）

2 職員（平成 26.4.1～）

所属	氏名	主な担当業務
館長（非常勤）	長谷川 信明	館務統轄
副館長	金谷 匡人	業務総合調整・館内管理・予算決算
専門研究員	山崎 一郎	閲覧利用・広報・普及に関すること
〃	和田 秀作	諸家文書に関すること
〃	吉田 真夫	藩政文書に関すること
〃	山本 明史	行政資料に関すること
〃	伊藤 一晴	行政文書に関すること
（兼）総務管理グループリーダー	河村 哲	庶務会計等
（兼）主事	辻岡 優	〃
嘱託職員	吉積 久年	文書整理
臨時職員	羽鳥 由貴	閲覧提供業務の補助、文書整理の補助

3 地方調査員（任期 平成 25.4.1～平成 27.3.31）

担当地域	氏名	担当地域	氏名
玖珂	惠本 洋嗣	厚狭	吉本 一雄
玖珂	山田 豊	豊浦	安富 静夫
都濃	佐伯 隆	大津	岡藤 正作
吉敷	佐久間 努	阿武	寺山 忠満

4 当初予算（単位：千円）

事業費	予算額（千円）	事業概要
文書館運営費	7,759	運営関係費
文書保存整理刊行費	2,315	文書の整理等
文化事業費	2,421	古文書講座・文書の修復等
合計	12,495	